

つれもて会2023年冬の番外 高見山の記録

2023. 2. 27

1. 実施日：2023年2月26日（日）
2. コース：近鉄榛原駅（8：30）→（バス）高見山登山口（9：20）470m→小峠（10：40）→平野分岐（11：25）→高見山頂（12：45～13：20）1248m→平野分岐（14：05）→高見杉（14：45）→たかすみ温泉前バス停（15：45着、16：00発）→（バス）近鉄榛原駅（16：45）16：57発→近鉄鶴橋駅（17：47）

（歩行距離8.5キロ）

3. 参加者：岡田、竹内、北村、小瀧（4名）
4. トピックス：今日が高見山登山（冬季の臨時バス「霧氷号」）の最終日ということで、「雪が残っているだろうか？」ということが最大の関心事でした。
バスを降りて雪のない登山道を歩き小峠まで来ると、先行グループがアイゼンを装着していたので、われわれもアイゼンとスパッツをつけて（全員久しぶりの作業に手間取る）、凍った道路を横断するがその後も雪も凍結もない山道を歩く。標高900メートルぐらいのところまで来ると、周りにきれいな霧氷のついた木々が現れ、しばらくすると新雪の道へと変わり足を取られたりしながら山頂を目指す。途中若いグループをパスさせながらようやく山頂へ。避難小屋が満員でとりあえず山頂と展望台で写真撮影と景色を堪能。天候は晴れ（若干の吹雪）雪を戴いた北の三峰山から南の大峰山系まで360度の景色を満喫しました。
当初の予定は早めに下山して、たかすみ温泉で入浴ということもあり急いで食事ということでしたが、やはり岡田さんのコーヒーをいただいての出発となりました。新雪の深さに足をとらえたりしながら、急な下りと高さの段差で膝ではなく太ももが笑うような状態が続き、予定より少し遅れてバス停に到着、16：00出発のバスで榛原駅へ。近鉄に乗って鶴橋で下車し、駅前の北村さんがご存じの焼き肉屋「七輪」でおいしい焼き肉を食べて1時間強の反省会。そのあと解散して各自帰路につきました。朝7：25分の近鉄鶴橋の集合から20：30分頃までの長く楽しい一日が終わりました。
5. 余談：（アイゼンについて）3人が6本歯、1人が4本歯のアイゼンを利用。4本のアイゼンは雪や凍結のないところでは高下駄をはいているようで歩きにくく、下りの雪道ではつま先に歯がないためブレーキが利かないで滑ってしまうことがありました。以前は気にしていませんでしたがやはり道具の大切さを実感しました。

以上

作：小瀧 信、協力：岡田勝英、竹内 勲



山頂展望台の4名



山頂の岡田さん（三峰山をバックに）



同じく、竹内さん



同じく、小瀧さん



同じく、北村さん



避難小屋前の（通称）「エビの尻尾」